

小学校でも進級し、3年生になりましたね。

新しい環境に慣れるまで大変だと思います。1週間の生活リズムをつかみ、どのタイミングで学習を進めていくのか、スケジュールをうまく立ててくださいね。

#### ◆第7回 物語文④／ことわざ②

練成問題では物語文を学習します。物語を読むときは、「いつ」、「どこで」、「だれが」、「どうした」のかに気をつけて読み、場面をしっかりとつかむようにしてください。今回は心情の変化を説明する大切な問題を学習します。じっくり取り組んでほしいと思います。

語句はことわざの学習をします。この回では、似た意味のことわざを選ぶ問題も出てきます。一つのことわざを覚えるときに、似た意味のことわざ、反対の意味のもとわざも合わせて覚えるようにすると、一気に知識が広がります。ぜひ、ことわざ辞典などを調べて、テキストに出てきていることわざと関連することわざも学習してみてください。

#### ◆第8回 物語文⑤／しゅうしょく語

練成問題では前回に続いて物語文を学習します。場面を頭の中で思いうかべながら、文章を読み進めましょう。中には難しい問題も出てきますが、がんばって取り組んでほしいと思います。

語句はしゅうしょく語を学習します。第2回で学習した「主語・述語」と今回学習する「しゅうしょく語」は文の意味を正確に理解するために身につけなければいけない、大切な単元です。一文を正しく理解することが、文章を正しく読解するための基本となります。第2回的主語・述語を復習してから今回の単元を学習すると、より理解が深まると思います。

#### ◆第9回 物語文⑥／三字・四字熟語①

練成問題では物語文を学習します。物語を読むときは、場面を意識するようにしましょう。文章を読み終えたとき、どんな話だったのか、あらすじが言えるようになることが大切です。今回は記述式の問題がたくさん出てきますが、積極的にチャレンジしてほしいと思います。

語句は三字熟語、四字熟語の学習をします。三字熟語の組み立ては、その熟語の中に二字熟語を探すことがポイントになります。四字熟語は意味も合わせて覚えるようにしましょう。漢数字を含んだもの、反対の意味の漢字を含んだものが、入試ではよく出題されます。

第7回、第8回の授業では、2桁以上の整数の乗除計算について学習します。第9回の授業では、平面図形のうち、基本的な角度や多角形の問題について学習します。各回の学習の目安は以下の通りです。

### ◆第7回 整数の計算Ⅴ 2桁以上のかけ算

桁数の多い整数のかけ算の練習をしながら、計算の工夫や簡単な文章題などにも取り組みます。桁数が多くなりますので、基本的に筆算を書くようにしましょう。筆算はノートの欄外などではなく、堂々とノートの真ん中に書きます。また、文章題については、まず式を書き、次に必要に応じて筆算を書きます。

#### ① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 2～3ケタの整数のかけ算です。

例題2 下1～2桁が0になっている整数のかけ算ですが、それらの0は右に押し出した形で筆算を書きます。

例題3 かけ算の関係した計算の工夫の問題です。

例題4 2桁以上の整数のかけ算の関係した文章題です。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

#### ② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦と⑧が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

#### ③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① (2)はたし算も出てきます。

② 問題の意味をしっかり取って、ひき算を使います。

- ③ 文章題ですが、計算の工夫をすることができます。
- ④ 「日目」という表現から、範囲を考える問題です。
- ⑤ 単位が、「日」から「週」に変化するので、その部分でかけ算が増えます。
- ⑥ 時間、分、秒の関係、それに加えて、日、週の間隔を考える問題になります。計算としては、かけ算だけになります。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、②, ④, ⑥となります。

## ◆第8回 整数の計算VI 2桁のわり算

基本的に3〜4けた÷2けたという整数のかけ算を扱います。わり算において最も問題になる、商の見当のつけ方は、ある程度経験を積んでいく上で身につけていくものですので、間違っただけからと言って落ち込まずに修正していくことを習慣づけてください。筆算や、文章題においては式も書くことを心掛けてください。特に、わり算においては、筆算が縦に長く続くことがあるので、桁がずれないように注意を促してください。

### ① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 3けた÷2けたのあまりの出ない計算になります。15前後の数で割るときの商の見当のつけ方が、最初は少し難しいかもしれません。

例題2 3〜4けた÷2けたの計算になりますが、あまりが出るわり算になっています。

例題3 かけ算とわり算の両方を使う文章題です。

例題4 わり算であまりが出たときに、切り上げなければならないタイプの文章題です。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違っただけをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

### ② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦と⑧が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

### ③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 例題4とほぼ同等の問題になります。

② 単純にあまりの出るわり算の文章題です。

③ 単純にあまりの出るわり算の文章題です。

④ 整数で続けて割り続けていきます。なかなかあまりが出る段階にさしかからないので、不安になるかもしれません。あまりの出るわり算が何回目に当たるかを答えなければなりません。

⑤～⑧ 題意をきちんと読みとって、加減乗除を組み合わせる問題になります。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、④、⑤、⑦、⑧となります。

## ◆第9回 平面図形Ⅰ 角度・多角形

角度を中心に学習することにより、基本的な平面図形に慣れていただきます。面倒でも、ノートに問題と同じ図を描くようにしてください。

### ④ 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 平行な直線があると、どの角とどの角が等しくなるかということに慣れていきます。

例題2 正三角形と二等辺三角形に慣れていきます。

例題3 四角形の角度の計算をします。

例題4 少し複雑な図形の中に、二等辺三角形などを見つけることがポイントです。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

### ⑤ 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦が例題4のそれぞれ改題になっ

ています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

#### ⑥ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

- ① 辺の長さが等しいという条件からどの角とどの角が等しいのかに注意します。
- ② いつもは平行な直線が横になっていますが、縦になると難しく見えるかもしれません。また、(2)は1本平行な補助線を入れることが必要になります。
- ③ 二等辺三角形を見つけます。あと、正三角形と正方形は内角がすべてわかります。
- ④ 図形が与えられていないので、自分で書いてみた方がわかりやすいと思います。
- ⑤ 最初は分かりにくそうに見えますが、求められる角度を次々に図に書き込むことによって、徐々に見えてきます。
- ⑥ これはある意味で角度に関する分配算になります。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、②, ③, ④, ⑤となります。